

# ふるさとわかまちづくり

## 井上自治区

### 「井上」の由来

井上発展の礎を築いた故井上徳三郎氏の功績を語らねばなりません。明治39年以降、今の井上町は、“猿投村大字四郷字東山”と呼ばれていました。井上氏は、東山一帯を明治44年に農場を営むために購入され、農場の小作人は6戸、合わせて33人で、鋤をふって開墾に当たりました。開墾は、原野のために大変苦勞を重ねたようです。小作人の皆さんの生活は非常に厳しかったと聞いています。大正12年には寺部の農学校が群制廃止で経営難にあるため、農場の一部を寄付して現在の県立猿投農林高校の誘致をされました。また大正13年には、三河鉄道を敷設するために奔走し、現在の猿投駅の用地も寄付されました。

こうして東山はいち早く猿投村の中心地になったわけです。大正14年には井上徳三郎氏の猿投村に対する功績を讃え、現井上11丁目地内に猿投村村議会を経て村費にて井上真淵翁頌徳之碑が建立されました。昭和11年には井上徳三郎氏の偉業を後世に伝えるため、猿投村議会の議決により、当地の地名が大字四郷字東山から大字四郷字井上に改められたことが「井上」の地名の由来となっています。

### 地域の変貌

終戦により井上では88町歩の農地解放が行われ、これが契機となって人口も増え、一段と農業にも力が入られる事になりました。

昭和25年の朝鮮特需でトヨタ自動車(株)は軍用トラック受注に成功し、大きく息を吹き返しました。昭和35年には元町工場の一貫生産工場の完成などで、当井上地区はベッドタウンとして、住宅も年々増加しました。住民の増大により昭和49年、市から、井上地区の通学区の2分割案が出され、小学校の建設が行われました。昭和50年に四郷小学校(四郷町天道)



が開校して、井上町の児童は青木小学校と四郷小学校に通学することになりました。

昭和60年には井上区民の願いの井上小学校が井上町2丁目に開校されました。

昭和61年には井郷中学校が井上町1丁目に開校され、猿投台中学校から分離し、井郷学区として通学することになりました。

### 井上公民館

昭和58年に井上五郎氏より水神池(雉立池)の埋立地366㎡の寄付を受け、区民待望の井上公民館の建設が始まりました。昭和59年11月に井上公民館が完成しました。同時に水神社、井上五郎氏の胸像が建立されました。

井上公民館では友睦会、子ども会、ジュニアクラブ、福祉ボランティアグループや各種同好会の皆さんの多くの方々が利用されています。



井上公民館



井上町全景

### 井上創設70周年を迎え

平成18年度には井上区創設70周年記念として発行された記念誌からは、井上の歴史が垣間見られます。

また、「ふるさと・未来座」を立ち上げ、多くの人の参加を得て色々の事業を行いました。特に井上緑地の「みどりの小径」はみんなで作る憩いの場として整備を目指し、多くの木々の植樹も行われ、春には花も咲き始め楽しい小径になると思います。

### 猿投駅前周辺まちづくり

猿投駅前周辺まちづくり協議会による、猿投駅周辺の歩行者の安全確保や車の混雑解消のため、駅前の開発事業計画が進められています。

### 安心・安全な住みよいまちづくり

自治区は現在多くの環境問題を抱えており、区民の方々と共に「住みやすい安全・安心なまちづくり」を区民の皆さんと共に取り組んでいきます。

### 井上自治区データ

(H19.4 現在)

設立：昭和11年  
世帯数：1618世帯  
：780世帯(昭和51年)  
組数：81組  
面積：1.39Km<sup>2</sup>  
自治区たより：「自治区だより」年3回  
回覧：月2回  
ちびっ子広場：8箇所  
ふれあい広場：1箇所  
防犯灯設置箇所：192箇所  
小学校：井上小学校区  
自治区会館：井上公民館(45-1331)